

始業式（要約）

年度初めのスタートを祝うかのように校庭の桜が咲き誇ってくれています。しかし、皆さんも感じているとおり、例年とは少し雰囲気がちがうスタートになりました。今、ここで皆さんにお願いしたいことは3つです。

まず一目は新型コロナウイルスの感染の勢いが止まらない状態の中でのスタートです。「多くの人々の命を守るために、自分勝手な行動を謹んで、みんなで協力してほしい」ということです。

2月28日に急きょ3月2日からの臨時休業を伝えました。あれから一か月が経ち、毎日のように新型コロナウイルスの感染状況と死者数が報じられてきました。志村けんさんの死亡は私にとってもショックでした。今の私は、「これまでに経験したことがない非常に危険な事態に直面している」という認識をもっています。

さまざまな人がテレビなどでコメントしていましたが、iPS細胞の開発でノーベル賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授が新型コロナウイルスについて「よくわからない。マラソンのようになるだろう。」と答えていました。山中教授が「わからない」ほどやっかいなものが流行していることと、有効なワクチンや治療薬が今のところないという2のことがはっきりとわかりました。油断すると身近な人が大勢死ぬかも知れないという事態です。

学校再開にあたって、さまざまな手立てを講じていきます。新型コロナウイルスがいつ終息するかわかりませんが、出雲崎町での拡大を防ぐために担任の先生の指導や配付するプリントに書かれている注意事項を守ってください。しばらくの間、全員の協力が必要となります。

二つ目は、多くの先生方が入れ替わった中でのスタートとなりました。「自立の心を大切に、自分でできることは自分で、自分たちでできることは自分たちでしてほしい」ということです。あたらしく来られた先生方は出中のことはまだ分かりません。この伝統あるスローガンの精神を発揮してほしいと思います。

そして「一生懸命学ぶ」「多くの人とつながる」「他人を思いやる」の「学ぶ・つながる・思いやる」という活動を、主体的に取り組んでほしいと願っています。

最後の願いは、明日の入学式で新しい1年生を迎え、あたらしいメンバーでスタートします。ぜひ、「尊敬される先輩」になってほしいということです。1年生にとって、やはり先輩というのは大きな存在です。「尊敬できる先輩になる」ということは、全ての人に例外なく、そして大人になってからもずっと続く大きな目標です。

まず大切なことは、2・3年生が自ら行動して手本をみせることです。

「みんなで協力し、自分自身また多くの人々の命を守ってほしい」

「自立の心で、学ぶ・つながる・思いやる活動を実践してほしい」

「自ら行動し、尊敬される先輩になってほしい」

この3つを心掛けてください。そして明日、中学生になる1年生と共に、新しい出雲崎中学校、地域に誇れる中学校をつくっていきましょう。